

2019年度（平成31年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部	4
特養手稲	
職員内部研修計画	7
介護老人福祉施設 手稲ロータス	9
各種会議・委員会	10
年間行事予定	10
年間行事予算	11
老健手稲・居宅手稲・手稲通所介護・グループホーム	
職員内部研修計画	13
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	16
各種会議・委員会	17
年間行事予定	17
年間行事予算	18
手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	19
年間会議予定	20
年間行事予算	20
手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	21
手稲あんじゅ指定居宅介護支援事業所	23
手稲あんじゅ（介護予防）訪問介護事業所	24
手稲あんじゅ居宅介護事業所・	
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	25
年間会議予定	26
介護予防普及啓発事業予定・予算	26
手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所	28
年間会議予定	29
年間行事予算	29
（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	31
年間会議予定	32
年間行事予算	32
特養音更	
職員内部研修計画	34
介護老人福祉施設 ロータス音更	36
各種会議・委員会	38
年間行事予定	38
年間行事予算	40

ロータス音更（介護予防）通所介護事業所（標準型・認知症型）	41
年間会議予定（標準型）	43
年間行事予算（標準型）	43
年間会議予定（認知症型）	44
年間行事予算（認知症型）	44

老健音更

職員内部研修計画	46
老人保健施設 あんじゅ音更	48
各種会議・委員会	49
年間行事予定	49
年間行事予算	50
あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	51
年間会議予定	52
年間行事予算	52
あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	53
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	55

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

手 稲 ロ ー タ ス 会 法 人 本 部 事 務 局

手稲ロータス会 法人本部

社会や制度の変化に応じた持続可能な事業経営と、仕事と生活が両立する職員の働きやすい職場環境づくりのため、給与・人事評価制度、研修体制等の改革、見直しをめざす。また、各事業所が専門性、独自性を発揮しつつ、法人が1つの組織体として機能する体制を確保する。これらを通して法人と職員が成長する組織づくりに努める。

《重点推進課題》

1. 旧特養手稲ロータス新棟部分の改修

手稲ロータス移転に伴い、新棟部分を一部改修しデイサービスの実施と法人本部が移転するための整備を行う。

2. 新たな給与制度の構築

持続可能な事業経営と職員が安心して長く働き続けることのできる給与水準をめざす給与制度の改正を行う。

【指標・評価方法】

- ①給与表改正は 2020 年度の実施をめざす。
- ②介護契約職員の正職員化に取り組む。

3. 職場巡回訪問の実施

法人本部（事務局長、事務局次長）が定期的に各施設を訪問しコミュニケーションを活発にして実状を把握し、各施設間の連携調整、法人の組織統治（ガバナンス）機能を発揮する。

【指標・評価方法】

①経営幹部協議

施設長、事務長等と各職場の状況・課題、本部への要望等について協議する。

②幹部職員による職場定例会議へのオブザーバー参加

定期的な職場運営の会議にオブザーバー参加して実情把握を深め、また職員との面識を深める。

③個別面談

法人本部が毎回職員数名と個別面談し、職場等についての率直な意見、思いを聞く。
このほか、職員との懇親を図るため、各職場の懇親会に参加する。

4. 介護職員初任者研修受託機関として申請を行う

社会福祉法人手稲ロータス会が介護職員の初任者研修の受託機関として承認を受け、研修実施に向けた体制を構築する。

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	身体拘束廃止について①	身体拘束廃止委員会
5 月	事故発生又は再発防止について①	事故防止委員会
6 月	感染症・食中毒の予防について①	管理栄養士
7 月	プライバシー保護について	相談員
8 月	救命救急（AEDの使用方法含む）	外部講師
9 月	ターミナルケアについて	介護副主任
10 月	感染症・食中毒の予防について②	看護職員
11 月	非常災害時の対応について	相談員
12 月	認知症及び認知症ケアについて	介護主任
1 月	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止について②	身体拘束廃止委員会
2 月	事故発生又は再発防止について②	事故防止委員会
3 月	倫理及び法令遵守について	施設長
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	外部研修報告会	

介 護 老 人 福 祉 施 設 手 稻 口 ー タ ス

介護老人福祉施設 手稲ロータス

法人理念である「4つの笑顔」並びに手稲ロータス中期計画の key concept「稲穂地域に手稲ロータスがあってよかったね！手稲ロータスで働けてよかったね！」の実現のため、地域に開かれた共生型の施設運営を目指す。ICTの活用を推進し、全道の手本となるような科学的介護を実践する。

《重点推進課題》

1. 健全な経営体質の確立

新施設にて早期に新たな加算の取得と、ランニングコストの適正化を実行する。

【指標・評価方法】

- ①継続する加算と新規取得加算を検討し、前年度対比増を目指す。
- ②早期に必要なコストを算出し、継続的な経費削減を検討し実施する。

2. 新たなサービスバリューの提案

全世代対応の地域ケアが実践できるよう、地域ニーズの把握と事業展開並びに権利擁護と自立を基本とした入居者ひとりひとりの生活支援を実施する。

【指標・評価方法】

- ①地域交流スペースなどを活かした、日常的な生活支援に加え、イベントや行事の実施について、町内会や地区センター、近隣小学校・保育園など関係機関との連携を推進する。
- ②地域・施設ボランティアを組織化する。
- ③看取りケア・医療的ケア・適切な認知症ケアを実践する。（登録喀痰吸引等事業者の申請準備・学習療法の実践・認知症関係専門研修の継続的受講促進）

3. プロ集団によるチームケアの実践

各専門職が自身の職責・職務を完全遂行し、チームとして最大限の効果を発揮する。

- ①職員ひとりひとりに合わせた目標設定と職員育成をする。
- ②ICT・AIなどを活用し、根拠に基づいた精度の高い個別支援を実践する。
- ③入居者本人及びご家族参加のもと多職種連携による各種計画作成と実践する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第3水曜日 13:30～
	ユニットリーダー会議	毎月第3金曜日 16:15～
	ユニット会議	オンタイムで実施
	サービス担当者会議	毎週火曜日 15:00～
	入所検討委員会	4月・7月・10月・1月に実施
委員会	感染症対策委員会	毎月第3水曜日 13:30～
	身体拘束廃止委員会	毎月第3水曜日 13:30～
	事故防止検討委員会	毎月第3水曜日 13:30～
	褥瘡予防委員会	毎月第3水曜日 13:30～
	研修委員会	毎月第3水曜日 13:30～
	給食委員会	毎月第3水曜日 13:30～
その他	嚥下事故防止検討会	12月22日 18:00～
	感染予防検討会	2月16日 18:00～

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	12	母の日	女性入居者の母の日を祝う。
6月	16	父の日	男性入居者の父の日を祝う。
	随時	個別外出	ユニット毎個別対応
7月	随時	個別外出	ユニット毎個別対応
8月		手稲ロータス会夏まつり	屋外にて出店やイベントを催す。
	随時	個別外出	ユニット毎個別対応
9月	16	敬老祝賀会	ユニット又はフロアー毎にご家族を招き敬老をお祝いする
	随時	個別外出	ユニット毎個別対応
11月	随時	個別外出	ユニット毎個別対応
12月	2週目	もちつき大会	フロア毎に実施し鏡餅としてお供え。
	25	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画。
1月	1	新春茶話会	新年を祝い、お茶やお菓子を用意し職員と一緒に楽しむ。
2月	3	節分(豆まき)・節分会	干支歳の利用者による豆まき等。
3月	3	桃の節句	

【 備 考 】

- ※「誕生祝」毎月その方の生まれた日にお祝いを行う。
 ※「華道クラブ」毎月第3土曜日に実施。
 ※「俳句クラブ」毎月第2木曜日に実施。
 ※「個別外出」各ユニットにて個別に希望を聞きながら企画実施。
 ※ユニット活動・・・各ユニットにて企画(通年)

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日	12日	母の日のお祝い	プレゼント・カード代 (SS5) 500 × 60 人		30,000	30,000
6月	父の日 個別外出	16日 随時	父の日のお祝い ユニット毎個別に希望を聞き実施	プレゼント・カード代 (SS5) 500 × 20 人		10,000	10,000
7月	個別外出	随時	ユニット毎個別に希望を聞き実施				0
8月	手稲ロータス夏祭り 個別外出	10日 随時	模擬店材料代・飲物代 220,000 ボランティア食事代 400 × 40 人 往復葉書代 104 × 70 人 装飾費等 45,000 ユニット毎個別に希望を聞き実施	220,000 16,000 7,280 45,000		288,280	
9月	敬老祝賀会 個別外出	16日 随時	敬老週間で、日頃の作品を展示 敬老祝賀会の実施 (感謝状・米寿・喜寿・白寿・百歳以上の方) 入所者食事代 (SS5) 400 × 75 人 御家族食事代 450 × 50 人 飲物代他 3,000 × 8 ユニット 往復葉書代 104 × 70 人 記念品代 (90歳以上) 1,100 × 32 人 記念品代 (賀寿) 2,000 × 8 人 記念品代 (SS+5) 650 × 75 人 ユニット毎個別に希望を聞き実施	30,000 22,500 24,000 7,280 35,200 16,000 48,750		183,730	
10月	個別外出	随時	ユニット毎個別に希望を聞き実施				
11月	個別外出		ユニット毎個別に希望を聞き実施				
12月	もちつき大会 クリスマス・忘年会	2週目 25日	フロア毎餅つきを行い鏡餅を作る 利用者、家族、職員の親睦を図ると共に、 1年の労をねぎらう クリスマスツリー等飾りをし、食事を楽しんでいただく 入所者食事代 (SS5) 700 × 75 人 御家族食事代 450 × 50 人 飲物代他 3,000 × 8 往復葉書代 104 × 70 人 クリスマスケーキ (SS5) 300 × 75 人 クリスマスカード (SS5) 200 × 75 人 運営費等 7,000 × 8 ユニット	10,000 52,500 22,500 24,000 7,280 22,500 15,000 56,000		199,780	10,000
1月	正月(茶話会)	1日	お茶やお菓子を用意し職員と一緒に楽しんでいただく 運営費等 2,500 × 8 ユニット			20,000	20,000
2月	節分豆まき	3日	干支歳の入所者による豆まき等 豆・備品代・運営費等 1,000 × 8 ユニット			8,000	8,000
3月	桃の節句	3日	各ユニットと毎に実施 ユニット費使用				
	個別外出 誕生会 華道クラブ ティータイム ユニット活動	不定期 毎月 毎月 毎月	(暖かい時期に実施) 誕生日当日にお祝いを行う 個性や意欲を達成する 茶菓子を用意しコーヒーやお茶を楽しむ 調理レク、季節の食事、変わり湯等 ユニット毎での活動に使用 職員食事代 740 × 60 人 施設利用代他 5,000 × 7 ユニット プレゼント代 1,500 × 70 人 材料費 10,000 × 12 回 飲み物・茶菓子代 5,000 × 12 回 (3,500 × 8 × 12) 28,000 × 12 回	44,400 35,000 105,000 120,000 60,000 336,000		44,400 35,000 105,000 120,000 60,000 336,000	
合 計					488,400	961,790	1,450,190

老 健 手 稲
居 宅 手 稲
手 稲 通 所 介 護
グ ル ー プ ホ ー ム

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	救命救急について	外部講師
5 月	環境調整について	リハビリ主任
6 月	感染症予防について①	感染症予防対策委員会
7 月	介護事故防止対策について①	事故防止検討委員会
8 月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9 月	レクリエーションについて	外部講師
10 月	感染症予防について②	感染症予防対策委員会
11 月	介護事故防止対策について②	事故防止検討委員会
12 月	褥瘡予防対策について	看護主任
1 月	高齢者虐待防止について	身体拘束廃止委員会
2 月	福祉用具について	外部講師
3 月	接遇について	外部講師
随時	新規採用職員研修	各事業の主任など

(手稲あんじゅ居宅)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	制度改定に伴うケアマネジメントについて	介護支援専門員
5 月	ケアマネジメント過程における倫理と基本姿勢について（高齢者虐待）	介護支援専門員
6 月	地域コミュニティについて（社会資源の活用）	介護支援専門員
7 月	介護予防・日常生活総合支援事業について	介護支援専門員
8 月	在宅復帰に向けたケアプランの視点について	介護支援専門員
9 月	緊急時対応について	介護支援専門員
10 月	地域ケア会議について	介護支援専門員
11 月	医療連携について	介護支援専門員
12 月	モニタリング・支援経過記録について	介護支援専門員
1 月	リスクマネジメントについて	介護支援専門員
2 月	今年度のまとめと来年度の取り組みについて	介護支援専門員
3 月	来年度の介護保険制度の動向について	介護支援専門員
その他	外部研修（札幌市、ケアマネ連協、包括支援センター、他事業所、他	外部講師

(手稲あんじゅ訪介)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	混在サービスの取り扱い等について	サービス提供責任者等
5 月	サービス情報の共有について	サービス提供責任者等
6 月	介護技術研修（身体介護編）	サービス提供責任者等
7 月	感染症予防対策について	サービス提供責任者等
8 月	身体拘束・高齢者虐待防止について	サービス提供責任者等
9 月	介護技術研修（生活援助編）	サービス提供責任者等
10 月	接遇マナーについて	サービス提供責任者等
11 月	訪問介護計画書・サービス記録に関する研修	サービス提供責任者等
12 月	認知症ケアに関する研修	サービス提供責任者等
1 月	個人情報保護に関する研修	サービス提供責任者等
2 月	リスクマネジメント研修	サービス提供責任者等
3 月	他サービスとの連携について	サービス提供責任者等

(手稲ゆうゆう)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（平成30年度集計より）	事故対策委員
5 月	身体拘束廃止について①	計画作成担当者
6 月	感染症（食中毒）と蔓延防止策について	計画作成担当者
7 月	認知症の理解	外部研修参加者
8 月	倫理・法令遵守について	管理者
9 月	ケアプランについて	計画作成担当者
10 月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について②	外部研修参加者
11 月	感染予防対策について	管理者
12 月	記録の書き方について	計画作成担当者
1 月	個人情報、プライバシーの保護について	管理者
2 月	非常災害時の対応について	管理者
3 月	介護職のための医療知識、救急対応について	計画作成担当者
その他	新規採用職員研修	計画作成担当者

老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

「住み慣れた地域での暮らし」の実現における老健の在宅復帰機能の充実が求められている中、入所者の在宅生活を想定したケア提供や他職種間の連携等に努めている。今後も在宅復帰支援体制においては、様々な個別ケースに応じたアプローチができるように課題抽出や解決に向けた取り組みを促進していく。また在宅復帰以外のケア方針にある入所者に対しては、生活状況や心身機能の悪化を予防するために必要なケアの提供が求められることから、昨年度に実現未達成である褥瘡マネジメントの構築を目指す。

《重点推進課題》

褥瘡予防体制の確立

全入所者に対する褥瘡リスクの評価から予防ケアの提供と評価に関する一連の体系を見直す。またその過程における課題を再抽出させ、褥瘡ケア計画に基づくケアが適確に実践できる情報の共有方法やケア体制を確立させる。

【指標・評価方法】

褥瘡ケア計画の作成と予防ケアの提供が職種間で統一された把握と内容で実行できるような体制を構築する。同時に介護保険制度で位置付けられている褥瘡マネジメント加算の要件を達成させ、加算の取得を目指す。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	マネジメント・ミーティング	第2・4木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:45～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	感染症予防対策委員会	月1回 16:00～
	褥瘡予防対策委員会	月1回 16:00～
	身体拘束廃止委員会	月1回 16:00～
	事故防止検討委員会	月1回 16:00～
	広報委員会	第2火曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	月1回	演芸会	ボランティアを活用し、踊りなどの余興の提供
5月	GW頃	お花見ドライブ	桜を車窓から見物する
	12日	母の日のお祝い	女性入所者へ花などを贈り、お祝いする
6月	月1回	春のお食事会	季節の献立による食事提供
	1日	開設記念式典	豪華な食事で開設記念日を祝う(デイケア合同)
7月	16日	父の日のお祝い	男性入所者へ花などを贈り、お祝いする
	月2回	テラスDEカフェ	テラスで軽食などの飲食を楽しむ
8月	3日	手稲あんじゅ夏祭り	行事を通しての地域交流・貢献の実施
	月2回	テラスDEビアガーデン	テラスでノンアルコール飲料、軽食を提供する
9月	月1回	お月見会	入所者とともに調理で「お団子」を楽しむ
	14日	敬老祝賀会	家族を昼食に招いて長寿を祝う(デイケア合同)
10月	初旬	紅葉狩りドライブ	紅葉を車窓から見物する
11月	3日	あんじゅアート展	入所者、家族、職員などから作品を募集して展示する
	月1回	演芸会	ボランティアを活用し、踊りなどの余興の提供
12月	月1回	冬のお食事会	季節の献立による食事提供
	25日	クリスマス会	ケーキなどを食べて、クリスマスの気分を楽しむ
1月	1・2日	新年茶話会	茶話会をして新年を祝う
2月	3日	豆まき	干支歳の入所者による豆まき等

【備 考】

※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
 ※「音楽療法」毎月第3火曜日14:00～
 ※「化粧療法」2ヶ月に1回第2火曜日14:00～実施(化粧教室、ハンドマッサージ・ネイル教室)
 ※「あんしんお届け便」(外部業者によるショッピング機会の提供)年2回
 ※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～
 ※6～9月に外出デイ(16回程度)を開催
 →雨天時は屋内ショッピングモール等にて外食や買い物の機会を提供
 ※「避難訓練」年2回
 ※上記以外に「個別外出」、地域交流等を実施

年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	演芸会	月1回	ボランティアを活用し踊りなどの余興	運営費 15,000 × 1回		15,000	15,000
5月	母の日のお祝い	12日	女性入所者へ花などを贈り、お祝いする	プレゼント代 800 × 82人		65,600	65,600
	お花見ドライブ	GW頃	桜を車窓から見物する	実費	0	0	0
	春のお食事会	月1回	季節の献立による食事提供	入所者食事代 660 × 90人 飲物代他 10,000 × 1回	59,400 10,000		69,400
6月	開設記念式典	1日	豪華な食事で開設記念日を祝う	入所者食事代 660 × 90人 運営費 10,000 × 1回	59,400	10,000	69,400
	父の日のお祝い	16日	男性入所者へ花などを贈り、お祝いする	プレゼント代 800 × 8人		6,400	6,400
	テラスDEカフェ	月2回	テラスで軽食などの飲食を楽しむ	食材費等 500 × 90人 運営費 10,000 × 2回	45,000	20,000	65,000
8月	手稲ロータス会夏まつり	3日	行事を通しての地域交流・貢献の実施	模擬店材料代・飲物代 170,000 × 1回	170,000		
				ボランティア食事代 400 × 30人	12,000		
				往復乗車代 124 × 90人		11,160	253,160
				容器代他 20,000 × 1回		20,000	
	テラスDEビアガーデン	月2回	テラスでノンアルコール飲料、軽食を提供する	装飾費等 40,000 × 1回		40,000	
				食材費等 500 × 90人 運営費 10,000 × 2回	45,000	20,000	65,000
9月	お月見会	月1回	入所者とともに調理で「お団子」を楽しむ	入所者食事代 300 × 90人 運営費 10,000 × 1回	27,000	10,000	37,000
	敬老祝賀会		家族を昼食に招いて長寿を祝う	入所者食事代 660 × 90人	59,400		
				家族食事代 300 × 70人	21,000		
				飲物代他 25,000 × 1回	25,000		
				往復乗車代 124 × 90人		11,160	
				記念品代 550 × 90人		49,500	472,060
				記念品代(男女最高齢) 12,000 × 2人		24,000	
				記念品代(賀寿) 8,400 × 30人		252,000	
10月	紅葉狩りドライブ	初旬	紅葉を車窓から見物する	容器代他 15,000 × 1回		15,000	
				運営費 15,000 × 1回		15,000	
	実費				0	0	0
11月	あんじゅアート展	3日	文化の日に因んだ作品展	運営費 5,000 × 1回		5,000	5,000
	演芸会	月1回	ボランティアを活用し踊りなどの余興	出張費等 20,000 × 1回		20,000	20,000
12月	冬のお食事会	月1回	季節の献立による食事提供	入所者食事代 660 × 90人 飲物代他 10,000 × 1回	59,400 10,000		69,400
	クリスマス会	25日	ケーキなどを食べて、クリスマス気分を味わう	入所者食事代 660 × 90人	59,400		
				ケーキ代 450 × 90人 飲物代他 10,000 × 1回	40,500 10,000		109,900
1月	新年茶話会	1・2日	茶話会をして新年を祝う	飲食代等 15,000 × 1回	15,000		15,000
2月	豆まき	3日	干支歳の入所者による豆まき等	運営費 10,000 × 1回		10,000	10,000
その他	誕生会	随時	各入所者に誕生日プレゼントを贈る	プレゼント代他 1,100 × 90人		99,000	99,000
	音楽療法	月1回	音楽療法士による音楽療法	委託料 10,000 × 12回		120,000	120,000
	化粧療法	年6回	資生堂による化粧療法	委託料 11,400 × 6回		68,400	68,400
	あんしんお届け便	年2回	外部業者によるショッピング機会の提供	実費		0	0
	買い物代行	月2回	ネットショッピングによる買い物	実費		0	0
	個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代 940 × 30人	28,200		28,200
				運営費 15,000 × 1回		15,000	15,000
	外出デイ	年16回	季節折々の観光地や公共施設等へ外出	職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100人	124,000		124,000
	レクリエーション費	随時	グループごとに行うレクリエーション	運営費 50,000 × 1回		50,000	50,000
合 計					879,700	972,220	1,851,920

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

住み慣れた環境や地域での生活継続を目標とした利用者やその家族のニーズ等を捉え、生活環境や地域等の特性を活かした支援が展開できるように努める。さらに今後、通所リハビリテーションが求められる方向性と現実課題をみつめ、柔軟な姿勢で提供するサービスの内容や体制等を見直す。また、同法人内の通所サービスとの連携体制を強化させ、効率性の高い事業の共存体制を目指す。

《重点推進課題》

利用者の個性に合わせたプログラムの実践

心身機能の維持や改善を目的に、自宅等でも継続可能な運動や活動プログラムを策定する。さらに利用者本人の意欲を保つことができるよう、達成体験を印象づける仕組みへと工夫を加える。また、一方通行なアプローチにならないよう、実行前後の評価が利用者本人、家族又は居宅介護支援事業者等と共有できるようなシステムを構築する。

【指標・評価方法】

本プログラムに関する計画から評価までの過程の内容を定め、利用者本人又は家族等との情報発信や共有に関するシステムを構築する。一連のサイクル決定後、日々のアセスメントをもとに利用者一人ひとりの実行可能な運動や活動の選定と実行へと展開する。事業所内においては、会議などの活用で少なくともひと月に一回、実施方法の適正評価を行う。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定	開 催 日
通年	デイケア会議	毎月第1火曜日開催
	ケースカンファレンス	随時
	マネジメント・ミーティング	第2・4木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時

年 間 行 事 予 定

(単位：円)

月	行 事 名	予 算 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	お花見ドライブ	実費	0	0	0
	春のお食事会	利用者食事代 660 × 37 人 飲み物代 3000 × 1 回	24,420 3,000		27,420
6月	開設記念日	利用者食事代（当日） 660 × 37 人 利用者食事代（当日以外） 660 × 131 人	24,420 86,460		110,880
7月	日光浴	運営費 5000 × 6 回		30,000	30,000
8月	ロータス会夏祭り	模擬店材料代・飲食代 30000 × 1 回 運営費 10000 × 1 回	30,000	10,000	40,000
9月	敬老祝賀会	利用者食事代（当日） 660 × 37 人 記念品代 550 × 110 人 記念品代（賀寿） 25000 ボランティア謝礼 5000 × 6 回 運営費 5000 × 6 回	24,420	60,500 25,000 30,000 30,000	169,920
10月	秋のお食事会	利用者食事代 660 × 37 人 飲み物代 3000 × 1 回	24,420 3,000		27,420
12月	クリスマス・忘年会	プレゼント代 1,320 × 110 人 利用者食事代 660 × 168 人 ボランティア食事代 900 × 6 人 職員食事代 400 × 48 人	110,880 5,400 19,200	145,200	280,680
	冬のお食事会	利用者食事代 660 × 37 人 飲み物代 3000 × 1 回	24,420 3,000		27,420
通年	レクリエーション制作教材費	12,000 × 12 カ月		144,000	204,500
	誕生祝い（プレゼント代）	550 × 110 人		60,500	
合 計			383,040	535,200	918,240

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者が可能な限り、その居宅や地域において、その有する能力に応じ自立した日常生活を目指すため、心身機能の維持や改善のみではなく、「活動」や「社会参加」などにも働きかけた支援を展開していく。

《重点推進課題》

他サービス事業者との連携強化

利用者の心身機能・生活状況等の維持又は改善に向けた目標の達成状況を通所サービス等の他サービス事業者と共有することで、切れ目ないサービスや自主訓練等の実行を目指す。

【指標・評価方法】

担当職員が利用者の利用している他のサービス事業所に出向き、自主訓練や生活動作方法を伝達していく。

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所
手稲あんじゅ（介護予防）訪問介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりが、住み慣れた自宅や地域で暮らしていけるよう、利用者を取り巻く家族や社会資源等、地域への視点を持ち、さまざまなサービスを切れ目なく提供していかなければならない。そのために、各関係機関や事業所と連携し、ネットワークを更に強化していく。

また、介護保険制度をはじめとする社会保障制度についても更なる理解と活用が重要である。

《重点推進課題》

「住み慣れた地域で暮らすために」

介護保険制度に留まることなく、様々な社会資源を活用し、その方のニーズに沿ったケアプランを作成する。また、病院や老健等から退所する方に、切れ目ないサービスを提供できるよう、多職種との連携を強化する。

【指標・評価方法】

- ①本人の持っている「強み」に着目しながら、より多くの情報を収集、分析することで、課題を明確化し、支援策を考える。
- ②café ange や地域のイベントを通して、地域住民と「顔の見える関係」を構築し、そこで知り得た地域性や課題を整理する。
- ③他法人が運営する居宅介護支援事業所との共同事例検討会や研究会等で、社会資源の開発及び必要性、重要性についても情報共有をしていく。

手稲あんじゅ訪問介護事業所
手稲あんじゅ札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手稲あんじゅ居宅介護事業所

可能な限り、利用者本人が望む在宅生活を継続できるように、利用者の「実行できていること」の継続だけではなく、「実行できそうなこと」を追求した援助の実現に向けた課題分析・評価の充実に努めていく。また利用者が求める多様な要望にも応えることができるよう、引き続き、混合サービスの提供を推進する。さらに幅広い顧客満足度を捉えるためにも、事業所管理の体制や連携等を見直していく。

《重点推進課題》

「訪問介護計画書等の見直し」

利用者の生活水準が維持または改善できるように、心身・生活機能の改善や維持、悪化の状況を明確化に捉えることができるツール等の見直しを図る。またサービス提供後の評価が担当の訪問介護職員と共有でき、課題達成に向けた取り組みを推進できる環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

- ①訪問介護計画書の作成過程に関する問題点の整理
- ②訪問介護職員に対する訪問介護計画に沿ったサービス提供への動機付けに向けた取り組み
- ③提供したサービスの評価の事業所全体による情報共有

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

更なる介護予防の普及啓発活動と一般介護予防事業を推し進めていく。また、地域住民の自主的な介護予防の取り組める集いの場作りと継続して活動できるよう支援に努める。

《重点推進課題》

1. 住民主体の介護予防活動の支援と更なる推進

住民主体で行われている介護予防活動に直接出向いての活動状況の把握と問題点、改善点について主催者と共有し、継続して活動できるよう支援していく。また、新たな介護予防活動の集いの場が生まれるように、地域住民への働きかけを行う。

【指標・評価方法】

担当地区内で地域住民が自主的に介護予防に取り組んでいる自主運動サークル(9カ所)を定期訪問(2～3 か月 1 回)し、活動状況の把握と主催者の今後の考えなどについて話を伺う。また、必要な支援を随時行っていく。

昨年度は、介護予防活動が行われていない「空白地帯」を示したマップを基に住民主体の新たな自主活動サークルが立ち上げることができたため、今年度は、別の空白地帯でも1カ所以上の自主活動サークルを立ち上げたい。それに向けて関係機関と情報を共有しつつ協議していく。

2. 運動プログラムを取り入れた効果的な介護予防教室の実施と自主活動化に向けての働きかけ

地域住民の健康増進と運動意欲の向上、住民同士の交流に繋がるよう、1 か月に複数回行う運動プログラムを中心とした介護予防教室を 3 か月の短期集中で実施する。また、教室終了後も参加者が主体となって活動できるように働きかけを行う。

【指標・評価方法】

月に複数回継続して行う運動プログラムを取り入れた介護予防教室の実施を、効果測定も含めて、稲穂金山地区、星置地区で各1カ所新たに実施する。また、自主活動化に向けて、キーパーソンの選出や活動に継続して取り組む必要性を認識して頂くように、教室内で専門職による講話や運動実施の動機づけを行う。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 事 業 所
通年	居宅会議(毎週金曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月2回)	訪問介護事業所
	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター)(月1回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(年6回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	星置地区新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活 動 名	費 用 内 容	金 額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代	4,100 6,000	10,100
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代	4,100 6,000 10,000	20,100
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代	4,100 6,000 3,000	13,100
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	4,100 5,000	9,100
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代	4,100 9,000	13,100
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	4,100 5,000	9,100
10月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	4,900 15,000	19,900
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代	4,900 3,000	7,900
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代	4,900 9,000	13,900
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代	4,900 9,000 3,000	16,900
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代	4,900 6,000	10,900
3月	介護予防すこやか倶楽部	会場費代 講師謝礼代	4,900 5,000	9,900
その他	福祉事業者総合補償保険	保険料	31,760	31,760
	一般介護予防モデル事業	会館費用	90,000	
		運動用ゴムバンド代	55,000	
		材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)	10,000	155,000
	地域福祉活動支援事業	材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等)	15,000	15,000
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費	60,000	60,000
合 計			415,760	415,760

手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所

手稲ロータス通所介護事業所

デイサービスでの様々な活動場面を通じて、利用者自身が『元気になる』実感を得られることで、在宅生活継続に繋がるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 個別ケアの推進

利用者のニーズに応じたサービス提供となるように、利用者へのケアを統一した方法で継続的に行うことができる体制の構築を進める。

【指標・評価方法】

- ①職員間での情報の共有化を図るために、経過記録の電子化を行う。
- ②利用者ニーズに合致したサービス提供を目指し、アンケートによるニーズ調査と毎月の会議においてプログラム内容の検討、変更を行う。
- ③通所介護計画の作成においてバーセルインデックスを活用する。
- ④機能訓練へのニーズに応えるために、個別機能訓練の実施対象者の拡大、生活機能向上連携加算の算定を含む内容の検討を進める。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	デイサービス会議(月1回開催)	全職員
	ケースカンファレンス・モニタリング(随時開催)	全職員
	各種委員会(レクリエーション・作品作り・利用者環境)(月1回開催)	各担当職員
	運営会議(月1回開催)	通所主任
	職員会議(適宜開催)	全職員
	サービス担当者会議(随時出席)	生活相談員他

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 40 人 利用者食事代(当日以外) 660 × 160 人	26,400 105,600		132,000
8月	夏祭り	模擬店材料代・飲食代 30,000 × 1 回 運営費	30,000	10,000	40,000
9月	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 660 × 40 人 記念品代 550 × 120 人 記念品代(賀寿) 5,100 × 12 人 ボランティア謝礼 5,000 × 3 回 運営費	26,400	66,000 61,200 15,000 12,000	180,600
12月	忘年会	プレゼント代 550 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 660 × 192 人 ボランティア食事代 900 × 6 人 職員食事代 400 × 60 人 ボランティア謝礼 5,000 × 3 回 運営費	126,720 5,400 24,000	66,000 15,000 12,000	249,120
通年	レクリエーション制作教材費	18,000 × 12 カ月		216,000	
	誕生会(プレゼント代)	550 × 120 人		66,000	
	外出行事(職員・ボランティア食事代)	1,240 × 54 人		66,960	348,960
合 計			344,520	606,160	950,680

（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

(介護予防)認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者と職員と一緒に生活について考え、入居者個人の生活を大切にし、楽しみや笑顔あふれる生活を送ることができるように支援していく。

《重点推進課題》

1. 個別ケアの継続

これまでのアセスメントで把握したニーズを基に個別のケアを継続し、日常生活へ反映させていく。個々に合った役割等を持つことで生活にハリが生まれ、その方らしい生活ができるように支援していく。

【指標・評価方法】

- ①上半期に再度アセスメントを行う(計画作成担当者)
- ②家族との関わりを多く持ち、入居前の情報収集を行う(担当:居室担当)
- ③入居者の要望に沿った個別外出を継続する(入居者毎、年1回実施)
- ④個別対応の実践(認知症進行予防への取組み等)

2. 入居者が楽しみにしている食事を豊かにする

豊かな食生活となるためにも、入居者と職員と一緒に食事について考え、食べることを楽しみ健康に繋がる食事の機会を提供する。

【指標・評価方法】

- ①入居者の嗜好を把握する
- ②食事内容の見直しを図る
- ③食事を美味しく感じることの出来る環境作り(盛り付け・音楽・飾り付け等)

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議・・・毎月第4水曜日18:00開催	全職員
	避難訓練・・・年2回実施(日中想定・夜間想定・土砂災害想定)	全職員
	運営推進会議・・・2ヵ月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	ショッピング	バスレク	職員食事代 740 × 10 人	7,400		
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	予備費 職員飲食代 740 × 2 人	1,480	1,000	9,880
5月	端午の節句 母の日 お花見	女性入居者お祝い バスレク	柏餅代 110 × 18 人 プレゼント代 550 × 16 人 職員食事代 740 × 10 人	1,980 7,400	8,800 1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	予備費 職員飲食代 740 × 2 人	1,480		20,660
6月	開設記念日(1日)	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18 人 装飾費 御家族食事代 600 × 18 人 記念品代 660 × 18 人 予備費	10,800	2,232 5,000 11,880 5,000	
	父の日 市内見物	男性入居者お祝い バスレク	プレゼント代 550 × 2 人 職員食事代 740 × 10 人	7,400	1,100 1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	予備費 職員飲食代 740 × 2 人	1,480		45,892
7月	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10 人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 4 人	2,960		11,360
8月	夏祭り	母体施設と合同(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18 人 運営費		2,232 50,000	
	海辺見物	バスレク	職員食事代 740 × 10 人 予備費	7,400	1,000	
	七夕 個別外出	七夕の飾りを行う 入居者の要望に沿った外出を行う	装飾費 職員飲食代 740 × 2 人	1,480	2,000	64,112
9月	敬老祝賀会	祝賀会(家族参加)	往復ハガキ代 124 × 18 人 装飾費 記念品代 660 × 18 人 祝品代 2,500 × 18 人 予備費		2,232 10,000 11,880 45,000 10,000	
	市内見物	バスレク	職員食事代 740 × 10 人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		88,992
10月	紅葉狩り	バスレク	職員食事代 740 × 10 人 予備費	7,400	1,000	
	十五夜 個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	装飾費 職員飲食代 740 × 2 人	1,480	2,000	11,880
11月	外食デイ	バスレク	職員食事代 740 × 10 人 予備費	7,400	1,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	職員飲食代 740 × 2 人	1,480		9,880
12月	クリスマス会・忘年会		往復ハガキ代 124 × 18 人 装飾費 プレゼント代 1,100 × 18 人 御家族食事代 2,000 × 18 人 職員食事代 2,240 × 10 人 予備費	36,000 22,400	2,232 10,000 19,800 10,000	100,432
1月	お正月 茶話会 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	装飾費 ゲーム材料代		20,000 3,000	23,000
2月	節分		豆代	1,000		1,000
3月	桃の節句		装飾費		2,000	2,000
通年	誕生会・・・各入居者の誕生日に実施		誕生カード代 500 × 18 人		9,000	9,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	園芸用品代(野菜を収穫する)				20,000	20,000
	イベント食(春・夏・秋・冬)					
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				144,700	293,388	438,088

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故防止、身体拘束廃止、感染症予防	各委員会
5月	ケアカフェ 認知症研修	通所介護事業所
6月	レクリエーション研修	施設向上研修委員会・通所介護事業所
7月	避難訓練	施設向上研修委員会
8月	AED緊急時対応研修	施設向上研修委員会
9月	看取り介護研修	看取り介護検討委員会
10月	事故防止	事故防止委員会
11月	感染症予防	感染対策委員会
12月	避難訓練	施設向上研修委員会
1月	研修伝達講習	施設向上研修委員会
2月	口腔機能向上	つがやす歯科
3月	ふまねっと	通所介護事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者様一人ひとりに、日々、安らぎの中で、笑顔で日常を過ごしていただけるような細やかなケアを目指し、その環境づくりに努める。

また、ご家族様にご安心いただくとともに信頼していただけるよう、情報交換を円滑に進め、合わせて、入居者様とご家族様が触れ合える機会の確保に努める。

さらに、地域に根差した施設となれるよう、講座の開催や施設の開放等により交流の場を設けるなど、地域とのつながりを更に強めていくことを目指すほか、職員が一つのチームとして連携・協力し、各自がその役割を果たせるよう、環境整備に努める。

《重点推進課題》

1 入居者様のご意向等を尊重しながら細やかなケアを行い、笑顔のあふれる生活環境づくりを目指す

入居者様一人ひとりのご意向や生活リズム、個性等を尊重しながら、日々の感情や表情、体調などの変化に対応した細やかなケアを行うことなどにより、入居者様の日常生活が笑顔いっぱいになれる環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

入居者様に関わる様々な情報を共有して必要なケアにつなげるため「連絡ノート」等の活用にも努めるほか、個別外出やユニットレクなど、入居者様に楽しい時間をより多く持って頂けるよう、余暇活動の充実を図る。また、生活の場が安全で心地良いところになるよう、ユニット内や居室内の整理整頓・清潔保持などの環境づくりに努める。

2 ご家族様に安心感と信頼感を持っていただく

ご家族様に、入居者様の生活の様子をお伝えして安心感を持っていただく一方、入居者様に関する情報やご要望をご家族様からお伺いして、日常のケアに反映させていくことなどにより、ご家族様に信頼感を持っていただける関係性を築いていく。

【指標・評価方法】

ご家族様に安心していただけるよう、面会時などに入居者様の日々の様子や変化などについてお伝えするほか、ご家族様から入居者様のことやケアに関するご希望等を伺う。

その際には、ご家族様から話し掛けやすい雰囲気作りに努める。

また、ご家族様の訪問を心待ちにされている入居者様が、ご家族様と一緒に楽しい時間を過ごせるような行事を企画するとともに、行事への参加を呼びかけていく。

3 地域の中の介護施設として、地域との「絆」を更に強めていく

職員の持つ専門性を生かして地域の皆様の生活に役立つ講座を開催するほか、会議室等を町内会など地域の皆様の活動に使用していただく。

また、小さな子どもから学生・大人も含めた様々な世代との交流を更に進めていく。

そうしたことを促進するため、行政機関などとの連携を更に強めていく。

【指標・評価方法】

施設の専門職員を講師として、施設内で健康講座等を開催するほか、老人クラブなどの地域からの要請に応じて職員を派遣し、地域の皆様が望まれる情報をできるだけ提供していく。

また、施設内の地域交流スペースや会議室を地域の町内会や老人クラブの会合に使用していただくほか、隣接する保育園の園児や小中高生・大学生のほか、地域ボランティアなどとの交流を一層促進していく。そのためにも、音更町などの行政機関や保育園、学校、ボランティア団体などとの連携を更に強めていく。

4 職員が一つのチームとして連携し、それぞれ自分の役割を果たす

それぞれの職員が、一つのチームとして気持ちを一つにし、不適切な点を互いに指摘し合うことのできる関係性を築くとともに、入居者様に安心して生活していただけるよう、自らの役割を十分理解してケアを実践していく。

【指標・評価方法】

職員が互いに尊敬し合い、感謝や労いの気持ちを大切にする一方、不適切と思われることに関しては、その都度、指摘(助言)し合うことのできる関係を築いていく。

また、入居者様に関われる時間をより多く持つことができるよう、時間の使い方を一層工夫するとともに、事故やヒヤリハットの未然防止に不可欠な情報の提供・共有に努める。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営ミーティング	毎月第1木曜日 10:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月 第1水曜日 16:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	リーダー会議	毎月第1木曜日 15:45～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	1回目 毎月第4金曜日11:30～ 2回目 4月、7月、10月、1月第4金曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 11:30～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月(その他の月は必要に応じ開催) 第4水曜日 15:45～
	生きがい活動委員会	4月、9月、2月 (その他の月は必要に応じ開催) 第3金曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	26日	イトーヨーカドー移動販売	あんじゅ音更を会場として、移動販売の実施。
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じていただく。
	20日	開設記念式典	開設記念をご家族を招いて祝う。
	—	保育園交流	鈴蘭保育園児との交流。
6月	—	蕎麦打ち	手打ち蕎麦の実演を楽しむ。
7月	28日	夏祭り	あんじゅ音更と合同で実施。出店やイベントを催す。
8月	—	納涼会	ユニット毎に花火や食事をして楽しむ。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
9月	9日	敬老祝賀会	ご家族も参加し長寿を祝う。
10月	—	保育園交流	鈴蘭保育園児との交流。
	—	アニマルセラピー	小動物との触れ合いを楽しむ。
11月	—	お食事会	お楽しみ食事会(セレクトメニュー)。
	—	観劇鑑賞	観劇と温泉

年間行事予定

12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
	—	餅つき大会	昔からの風習を大事にし、つきたての餅を食べ新年を迎えていただく。
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	3日	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
3月	3日	春の行事食	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。
【備考】 ※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施 ※「個別外出」各ユニットにて動物園や外食行事などを企画しながら随時実施 ※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施 ※「喫茶」月1回程度、金曜日午後に実施 ※「床屋」毎月第4月曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜 ※「避難訓練」年2回実施（日中・夜間想定）			

年 間 行 事 予 算(案)

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月							0
5月	お花見 開設記念式典 保育園交流	7日～未定 20日	鈴蘭公園の桜を鑑賞し楽しむ あんじゅ音更と同日、実施 鈴蘭保育園児との交流	入居者食事代 800 × 80 人 往復封筒代 164 × 72 人 飾り付け材料代外 3,000 × 4 ユニ ット プレゼント代 50 × 100 人	64,000	11,808 12,000 5,000	92,808
6月	蕎麦打ち	—	手打ちそばの実演を楽しむ	食材費 125 × 80 人		10,000	10,000
7月	夏祭り	29日	あんじゅ音更と合同、実施	入居者食事代 1,000 × 80 人 往復封筒代 164 × 72 人 飾り付け材料代外 240,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	11,808 240,000 5,000	336,808
8月	納涼会 施設居酒屋	1～末日	ユニット毎に花火や食事をして楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	入居者食事代 500 × 80 人 材料代 5,000 材料費 15,000 × 1 回	40,000	5,000 15,000	60,000
9月	敬老祝賀会	9日	あんじゅ音更と同日、実施 敬老週間(作品展示等)	往復封筒代 164 × 72 人 被表彰者記念品 3,000 × 10 人 入居者食事代 900 × 80 人 家族食事代 500 × 60 人 飾り付け材料代外 15,000	72,000 30,000	11,808 30,000 15,000	158,808
10月	保育園交流 アニマルセラピー	— —	鈴蘭保育園児との交流 小動物との触れ合いを楽しむ	プレゼント代 50 × 100 人 1時間コース(委託) 8,000 × 1 回		5,000 8,000	13,000
11月	お食事会 観劇鑑賞	1～末日 —	お楽しみ食事会(セレクトメニュー) 観劇・温泉入浴	入居者食事代 400 × 80 人 観劇料金 3,500 × 5 人	32,000	17,500	49,500
12月	クリスマス・忘年会 餅つき大会 大晦日	— 27日 31日	 杵と臼を使って参加、披露 おせち料理で新年を祝う	飾り付け材料代外 3,000 × 4 ユニ ット プレゼント代 300 × 80 人 入居者食事代 500 × 80 人 もち米外 8,000 入居者食事代 300 × 80 人	40,000 8,000 24,000	12,000 24,000	108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80 人 飲み物代等 100 × 80 人	64,000 8,000		72,000
2月	節分 施設居酒屋	3日 —	豆まきを楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 巻き寿司、いなり 100 × 80 人 材料代 15,000 × 1 回	5,000 8,000	15,000	28,000
3月	春の行事食	3日	行事食を楽しむ(寿司行事) 桃の節句	入居者食事代 800 × 80 人 食材費 200 × 80 人	64,000 16,000		80,000
通年	誕生会 調理レク 季節のお菓子		誕生日プレゼント 調理レクを楽しむ 季節のお菓子	プレゼント代 1,300 × 72 人 材料代 200 × 80 人 × 4 回 100 × 80 人 × 4 回	64,000 32,000	93,600	189,600
合 計					651,000	547,524	1,198,524

ロータス音更(介護予防)通 所 介 護 事 業 所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者様の在宅生活がより豊かで充実したものとなるよう、利用者様一人ひとりが持っている能力が生かされるような「利用者様本位」の「自立支援」を目指すとともに、支援する職員の意識と介護力の質的向上に努める。

<共通課題>

利用者様と地域との交流やつながりを一層進める

ボランティアを含めた地域の様々な皆様との関わりを持ち交流を深めることで、地域とのつながりを感じていただく。また、介護予防に関する講座を開催することや各種メディアを活用することで、当通所事業所の取組を広く地域の皆様に知っていただく。

【指標・評価方法】

- ・地域ボランティア団体等への協力要請を積極的に行うとともに、事業活動を通じて、利用者様と地域ボランティアの方々との交流を促進する。
- ・介護予防につながる「ふまねっと」などの講座を開催して、実際に体験していただくとともに地域の皆様に理解していただく。また、メディアに対してこうした取組情報を積極的に提供し、広く地域に紹介していただく。

<標準型デイサービス>

自らの社会的役割を感じていただけるような支援を行う

より多くの利用者様に、作品を製作するなどの就労支援的活動に参加いただく中で、自分の「生きがい」や「やりがい」を見つけていただけるよう支援を行う。その結果として、「ロータス音更に行きたい」という「意欲」を持っていただくことを目指す。そうした活動を指導する職員のスキル向上にも努める。

【指標・評価方法】

- ・就労支援的活動として、施設前の畑でじゃがいもを生産するとともに、手芸品を製作し施設内でバザーを開催して、地域の皆様にも販売する。
- ・介護福祉のプロとしての意識を更に高めるため、積極的に資格習得や研修への参加を促し、新たな介護技術や知識の習得を図る。

<認知症対応型デイサービス>

認知症についてより深く理解し、尊敬の気持ちを持ちつつ、温かな支援を心がける

利用者様に安心感を持って穏やかに日常を過ごしていただけるよう、「その人らしさ」を理解するとともに、尊前の気持ちを持ちながら、ご意向を踏まえて温かな支援を行う。

【指標・評価方法】

- ・職員自らが認知症についての理解を深めるとともに、利用者様の状況に応じた声がけ

や適切な対応を行い、利用者様が安心感を持てる居心地の良い生活環境を作り出せるよう、職員の意識と介護力の質的向上を図る。

- ・既存の認知予防に特化したプログラムを当事業所で集約し、そのプログラムを用いて支援を行い、利用者様の生活意欲の向上につなげていく。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1～2回)	全職員

年 間 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	園児交流(午前)	園児との利用者が楽しめる催し物を開催。	製作材料費 2,000		2,000	2,000
5月	音楽療法の会	音楽療法士によるリズム・音楽療法を開催。	音楽療法士交通費(一般デイ計上) 4,000		4,000	4,000
6月	アニマルセラピー	動物との触れ合いを楽しむ。	1時間コース(認知デイ計上)		0	0
7月 8月	夏の納涼祭(2日間) →園児交流含む	夏祭りレクリエーション 屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。 また、季節を感じられる催し物を園児と共に楽しむ。	飲食代 7,000 製作材料費 3,000 ゲーム景品代 2,000	7,000	3,000 2,000	12,000
9月	敬老週間	職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 3 人 記念品代 500 × 80 人 製作材料費 5,000 ゲーム景品代 5,000		4,500 40,000 5,000 5,000	54,500
10月	ハロウィン(園児交流)	季節を感じられる行事と園児との交流。	材料費 5,000		5,000	5,000
11月	音楽療法会	音楽療法士によるリズム・音楽療法を開催。	音楽療法士交通費(一般デイ計上) 4,000		4,000	4,000
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施。	プレゼント代 600 × 80 人 製作材料費 3,000 ゲーム景品代 3,000		48,000 3,000 3,000	54,000
1月	冬の昼食行事 もちつき (1日限定)	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。 利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 400 × 80 食材料費 2,000	32,000 2,000		32,000 2,000
2月	節分 鈴蘭保育園卒園児のお祝い	豆まきを行う。 1年間交流してきた卒園児をお祝いする。	豆・備品代 3,000 製作材料費(認知デイ計上) 0	3,000 0		3,000 0
3月	ひな祭り	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 2,000	2,000		2,000
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費 6,000		6,000	6,000
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 新聞代(利用者用) 季節のお菓子代(一人100円×4回分) 本代(利用者用) カフェライラック喫茶 飲食代		6,000 × 12 ヶ月 500 × 80 人 道新スポーツ・道新購読料 5,962 × 12 人 400 × 80 人 週刊誌代 1,350 × 12 人 材料費 2,000 × 12 ヶ月	32,000	72,000 40,000 71,544 16,200 24,000	255,744
4～8月	外出行事(職員と共に外食へ出かけ、食事を楽しむ)		職員食事代 5,000 × 5 ヶ月		25,000	25,000
小 計				78,000	383,244	461,244
消 費 税				6,240	30,659	36,899
合 計				84,240	413,903	498,143

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1～2回)	全職員

年 間 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	園児交流(午前)	園児との利用者が楽しめる催し物を開催	製作材料費 2,000		2,000	2,000
5月	音楽療法の会	音楽療法士によるリズム・音楽療法を開催。	音楽療法士交通費(一般デイ計上)		0	0
6月	アニマルセラピー	動物との触れ合いを楽しむ。	1時間コース		8,000	8,000
7月	夏の納涼祭(2日間) →園児交流含む	夏祭りレクリエーション 屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。 また、季節を感じられる催し物を園児と共に楽しむ。	飲食代 5,000 製作材料費 2,000 ゲーム景品代 2,000	5,000	2,000 2,000	9,000
9月	敬老週間	職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 2 人 記念品代 500 × 20 人 製作材料費 2,000 ゲーム景品代 2,000		3,000 10,000 2,000 2,000	17,000
10月	ハロウィン(園児交流)	季節を感じられる行事と園児との交流。	材料費 5,000		5,000	5,000
11月	音楽療法会	音楽療法士によるリズム・音楽療法を開催。	音楽療法士交通費(一般デイ計上)		0	0
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施。	プレゼント代 600 × 23 人 製作材料費 3,000 ゲーム景品代 3,000		13,800 3,000 3,000	19,800
1月	冬の昼食行事 もちつき (1日限定)	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。 利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 400 × 23 食材料費 1,000	9,200 1,000		9,200 1,000
2月	節分 鈴蘭保育園卒園児のお祝い	豆まきを行う。 1年間交流してきた卒園児の卒園お祝い。	豆・備品代 2,000 製作材料費 2,000	2,000 2,000		2,000 2,000
3月	ひな祭り	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 2,000	2,000		2,000
入浴	年間を通じて季節に応じた入浴レクを楽しむ(年2回を予定)		入浴レク材料費(一般デイより計)			0
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 季節のお菓子(一人100円×4回分) カフェライラック喫茶飲食代		3,000 × 12 ヶ月 500 × 23 人 400 × 23 人 材料費 2,000 × 12 ヶ月	9,200	36,000 11,500 24,000	80,700
小 計				30,400	127,300	157,700
消 費 税				2,432	10,184	12,616
合 計				32,832	137,484	170,316

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更・あんじゅ音更居宅)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	外部講師・接遇向上委員会
5月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
6月	感染予防について	感染予防委員会
7月	非常時対策について	防災委員会
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	研修委員会担当	研修委員会
10月	体操・レクリエーションについて	研修委員会
11月	感染予防について	感染予防委員会
12月	ミニ勉強会(医学知識・レクリエーション)	研修委員会
1月	事故防止について	医療事故防止委員会
2月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
3月	研修報告会	研修委員会

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

入所者の皆様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせた活動やリハビリを提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

また、医療・介護・リハビリ・栄養・相談が一体となり、終末期にある入所者については、ターミナルケアを提供し、老人保健施設としての幅広い役割を担っていく。

《重点推進課題》

1. 在宅復帰・在宅支援のための地域拠点となる施設へのさらなる進化

あんじゅ音更が持つ在宅支援機能(入所・ショート・通所リハ・訪問リハ・居宅)の連携体制を強化し、在宅復帰及び在宅支援のさらなる連携支援体制を構築する。

老人保健施設としては、入所者に対して「在宅復帰」を念頭に置いて、リハビリテーションを行い、在宅復帰率30%以上の安定確保を目指していく。

【指標・評価方法】

- ①一般棟では、在宅生活を想定したケアの実施や運動量の確保を行うことで、今ある能力の維持・向上を図り、ご自宅での生活がスムーズに戻ることができ「家に戻れて良かった。」と感じられるように支援する。また、在宅復帰が難しい方についても、現在の能力を維持・向上することで外出や行事への参加など楽しみのある生活を続けられるよう支援する。運動量の確保のために、午前の立ち上がり訓練、嚥下体操に加え、午後のレク時間前にも体操を取り入れていく。
- ②認知症専門棟では「個別ケアの充実～一人ひとりの想いを大切に～」を合言葉に、利用者担当が中心となり、一人ひとりの想いに寄り添い、ご家族とのつながりを密にとることで、その想いを実現できるようアプローチをしていく。ご自宅に帰りたいという想いの方も多くおられるため、個別外出で職員が付き添ってご自宅に帰る機会を持ち、ご自宅での不安を軽減し、外泊や外出の機会を増やし、「在宅復帰」の一歩としていく。
- ③終末期にある入所者については、ご本人、ご家族の意向に添ったターミナルケアを提供する。
- ④空床利用によるショートステイの充実化を図るべく、空室状況に合わせて地域のケアマネと連携を図り、地域のニーズに即した受け入れ態勢を構築していく。さらに「在宅復帰」された入所者に対しては、ショート・通所リハ・訪問リハ等のサービスを利用いただき、継続的にあんじゅ音更が支援にかかわり、再度老健入所が妥当となった段階で早急な受け入れ態勢を整えていく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第2木曜日 毎月第2金曜日
	リハビリ会議	毎月第1水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 : 毎月第3水曜日 小委員会: 毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	毎月第4月曜日
	研修委員会	毎月第4火曜日
	教育委員会	毎月第2月曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	随時
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	ターミナルケア委員会	毎月第2月曜日
	衛生委員会	毎月第1月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	26日	買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		母の日	母の日に合わせお祝いをする。
	19日(日)	開設記念式典	開設15周年を祝う。
6月		父の日	父の日に合わせてお祝いを祝う。
	上旬	運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
		蕎麦行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
7月	28日(日)	夏祭り	ロータスと合同開催。模擬店やイベントを催す。
8月	上旬	帯広市七夕祭り出展	地域の夏の行事に参加し、交流する。
		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月	8日(日)	敬老祝賀会	家族と共に、入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
11月		家族交流会	家族と利用者と鍋を囲み情報交換を行い交流を深める
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	千支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	職員による相撲大会。

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施

※「変わり湯」年2回実施

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「くるみの会ボランティア喫茶」第1水曜日・「くるみの会ボランティアレク」第3木曜日

※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

※「華道クラブ」毎月第2土曜日に実施

※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	買い物デイ 寿司行事	26日	施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。 入所者の声を反映した食事提供を行う。	買い物代 実費 入所者食事代 700 × 100 人	70,000		70,000
5月	母の日 開設15周年記念 個別外出	19日	母の日に合わせお祝いをする。 開設記念を入所者、家族と共に祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	6,000 入所者食事代 330 × 100 軽食・飲み物代 40,000 装飾等備品代 10,000 花(一輪挿し) 3,500 入所者飲食代 実費	33,000 40,000	6,000 10,000 3,500	92,500
6月	蕎麦行事 運動会 父の日 個別外出	計2回	ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食 リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 父に日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 200 × 100 人 装飾等備品代 20,000 6,000 入所者飲食代 実費	20,000	20,000 6,000	46,000
7月	夏祭り 個別外出	28日	ロータス音更との合同開催にて実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 300 × 100 人 ボランティア食事代 500 × 45 人 模擬店材料代・飲物代 250,000 入所者飲食代 実費	30,000 22,500	250,000	302,500
8月	夏レク 個別外出	下旬	夏らしいレクリエーションの実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費		20,000	20,000
9月	敬老祝賀会 個別外出	8日	家族、職員と共に入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 家族食事代 500 × 70 人 高齢者記念品代 2,000 × 16 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 35,000	32,000 20,000	163,000
10月	寿司行事 個別外出 買い物デイ		入所者の声を反映した食事提供を行う。 入所者の希望に沿った外出を行う。 施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。	入所者食事代 700 × 100 人 入所者飲食代 実費 買い物代 実費	70,000		70,000
11月	家族交流会		家族と利用者と鍋を囲み、情報交換を行い、交流を深める。	入所者食事代 260 × 100 人 家族飲食代 260 × 54 人	26,000 14,040		40,040
12月	クリスマス忘年会 年越し	日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の親睦を図る。 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000	20,000 30,000	100,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,200 × 100 人 もち米他材料代 10,000	120,000 10,000		130,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	千支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	大相撲大会	景品・備品代 10,000		10,000	10,000
通年	誕生日会 変わり湯(8月3月) 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 備品購入代 予備費	毎月 2回 水・日曜	入所者の誕生日に合わせ、お祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 ボランティアによる喫茶開催(第1水曜日) フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代 行事備品(テント等購入)	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴物品代 6,000 × 2 ヶ月 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2×12 ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 30 100,000 100,000	9,300	150,000 12,000 240,000 50,000 100,000 100,000	661,300
合 計					650,840	1,089,500	1,740,340

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を念頭におき、通所リハビリテーションの役割を踏まえ、専門職としての資質向上を目指し、利用者が住み慣れた地域や自宅で生活が送れるよう支援を行っていきます。

また、在宅生活を支えている家族の気持ちを大切に、双方が安心して生活を送ることができるよう努めていきます。

そして、働く仲間(職員)も大切に働きやすい環境作りを目指していきます。

《重点推進課題》

1. 自立支援を目指した取り組み

各職員が通所リハビリテーションとしての役割を再認識し、改めてチームとして自立支援を目指したケアを実施する。

【指標・評価方法】

- ①会議の場で介護保険の通所リハビリテーションについての研修会を開催し、役割を再認識する。
- ②個々の利用者の身体・精神状況を再確認しながら過剰介護を行っていないか、自立支援に向けたサービス・業務内容の改善を行う。
- ③サービス担当者会議にて利用者の自宅での生活状況、役割を再確認し、家族の意向も取り入れ、通所の目標に反映させる。
- ④年間を通し、1人1回、外部研修に参加をし、新しい情報を得る。参加後、会議の場で研修内容を伝達する機会を作り、情報の共有を図る。

2. 働きやすい職場作り

各職員の様々な視点、考え方、意見を大切に検討し、取り入れることで働きやすい環境作りや利用者への接遇に反映をさせていく。また、職員面談を通じ、個人目標を振り返り、新たな目標を立て、日々のやる気やモチベーションアップにつなげる。

【指標・評価方法】

- ①各職員の意見を大切に検討し、日々の業務内容に反映させる。
- ②職員面談を実施し、日々のやる気やモチベーションアップにつなげる。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	デイケア会議(第3木曜日)	デイケア職員	医療事故防止委員会(第3水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	接遇向上委員会(第4月曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・常勤職員	研修委員会(第4火曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	幹部会議・主任会議(10日以降で設定)	通所主任・通所副主任	新人教育委員会(第2月曜日)	担当職員
			防災委員会(不定期開催)	担当職員

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	園児との交流				0	0
5月	園芸活動 昼食行事(1日限定) 園児との交流	苗植え (きゅうり、ミニトマト) 利用者・職員と一緒に食事を楽しむ 地域の子供との触れ合い	肥料 1,000 × 1 苗 3,000	20,000	1,000 3,000 0	24,000
6月	外出行事 ①変わり湯週間 園児との交流	外食・外出を行う 雰囲気の違うお風呂を提供する (未定) 地域の子供との触れ合い	付き添い者食事補助 10,000 15,000	10,000	15,000	25,000
7月	第15回夏祭り 昼食行事(1日限定) 外出行事 園児との交流	ロータス音更との合同で実施 利用者・職員と一緒に食事を楽しむ 外食・外出を行う 地域の子供との触れ合い	飾り付け等の備品 10,000 レンタル備品等 90,000 通所者食事代 300 × 30 人 ボランティア食事代 500 × 10 人 付き添い者食事補助 10,000	9,000 5,000 20,000 10,000	10,000 90,000 0	144,000
8月	調理レク 園児との交流	夏らしい物をご利用者と一緒に作る 地域の子供との触れ合い	100 × 180	18,000	0	18,000
9月	敬老週間 昼食行事(1日限定) 園児との交流	敬老を祝う 利用者・職員と一緒に食事を楽しむ	各種表彰 1,500 × 12 人 (H31.2.14現在) 喜寿(昭和18年) 5 人 米寿(昭和 7年) 6 人 白寿(大正10年) 0 人 高齢者 1 人 ボランティアお礼等 10,000	20,000	18,000 10,000 0	48,000
10月	運動会 そば打ち 園児との交流	利用者・職員共に運動会を行う 地域の子供との触れ合い	物品費 10,000	10,000 5,000	0	15,000
11月	漬け物作り 昼食行事(1日限定) 園児との交流	大根を使った漬け物作りを利用者で行う 利用者・職員と一緒に食事を楽しむ 地域の子供との触れ合い	大根(60本) 6,000 漬物用物品 2,000	6,000 2,000 20,000	0	28,000
12月	Xmas&忘年会 ②変わり湯週間	 雰囲気の違うお風呂を提供する (ゆず湯)	ケーキ代 200 × 150 人 プレゼント 500 × 90 人 飾り付け 20,000 ボランティアお礼等 15,000	30,000	45,000 20,000 15,000	110,000
1月	餅つき 昼食行事(1日限定)	利用者と餅つきを行う 利用者・職員と一緒に食事を楽しむ	材料費等	3,000 20,000		23,000
2月						0
3月	昼食行事 スライドショー	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ 1年間の振り返りを行う	おやつ代 150 × 180 人	20,000 27,000		47,000
通年	レクリエーション制作材料費 誕生日プレゼント代 本代(オレンジページ)(月2回) 本代(壮快)(月1回) レクリエ(2ヶ月に1回)		6,000 × 12 ヶ月 1,000 × 100 人		72,000 100,000 12,000 7,500 12,000	203,500
予備	予備費					
	社会福祉法人 大谷菩提樹会 おひさま保育園、木野南保育園、 鈴蘭保育園、宝来保育園 4カ所の交流は随時行っていく。(4月～11月の間)		合 計	255,000	430,500	685,500

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を送り続けることができるよう支援する。

また、機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、利用者が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案すると共に、安心安全な生活を送れるよう支援する。また、家族への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ①医師の診察・指示のもと、利用者個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の希望、家屋環境についてもプログラムに反映させることで、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ②定期的にリハビリテーション会議を実施し、関係部署や関係機関との情報共有を図る。リハビリの進捗状況の確認や新たな目標設定に加えて、訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。
- ③年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。
- ④施設行事(夏祭り)への参加案内を出し、利用者が主体的に外出できる機会を提供する。

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者の置かれた環境等に応じ、より自立した在宅生活を継続して営むことができよう to 考慮し、心身の状況により適切な在宅介護サービスを有効的に利用者・家族が選択できるように支援する。また、地域包括システムの構築に向けた取り組みとして、対人援助の専門職として地域に対して専門性の高い支援ができるように努める。

《重点推進課題》

1. 介護支援専門員として専門知識を活用し在宅生活を支える

利用者・家族の置かれた環境、能力に応じた適切な介護保険サービスを選択する事ができるように介護支援専門員として自己研鑽、医療、福祉について知識の習得に務める。

【指標・評価方法】

- ①外部研修、勉強会へ積極的に参加し、習得した知識や技術を事業所内で伝達講習を行い周知し、利用者、家族への支援に役立てる。
評価方法としては昨年度末に参加した勉強会、研修会の内容を吟味して、より良い勉強会、研修会を選定し参加できるようにする。
- ②事業所内研修、勉強会を定期的に開催し、各自が不安に思うことや疑問に思うことを互いに出し合い、検討し、事業所全体のスキルアップを図る。年度末には事業所内研修、勉強会の開催回数を集計し、内容を検討して次年度の計画を立てる。

2. 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域社会の創造に寄与する

公的なサービスを提供しながらも、地域で互いに協力して生活できるように地域社会の結びつきをより強くできるように情報提供、支援をする

【指標・評価方法】

- ①地域にある老人会や町内会の集まりに積極的に参加し、居宅事業所として提供できる講話、研修会を開催し、開催後には良かった点や課題の有無について話し合う。